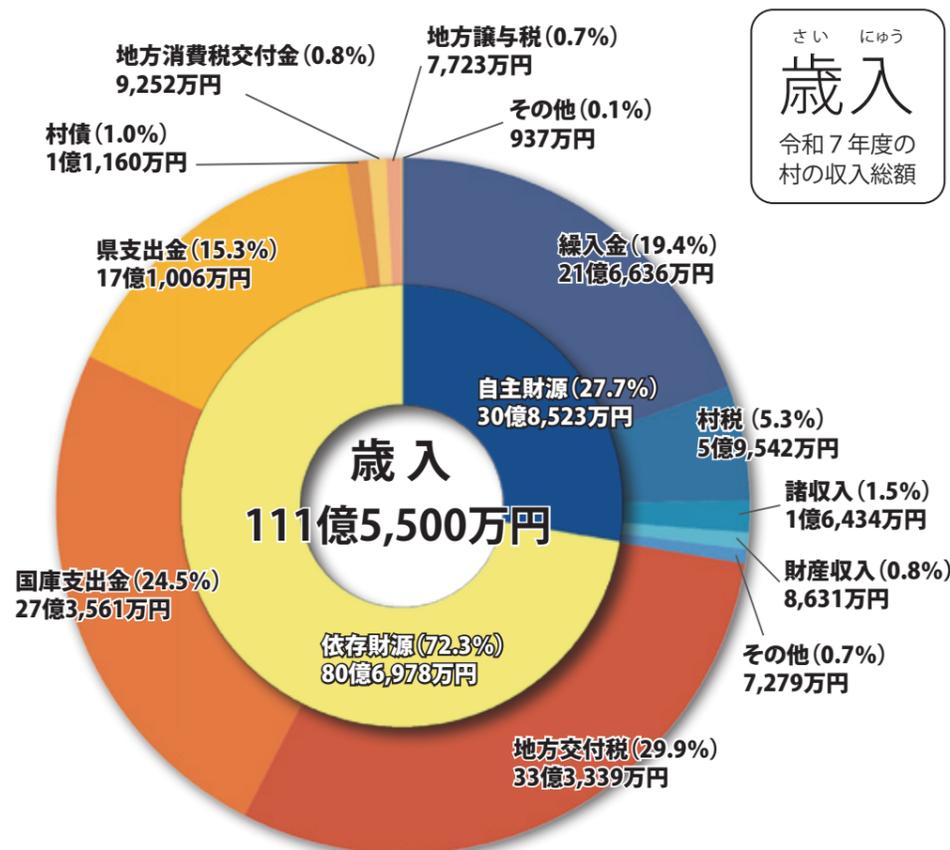
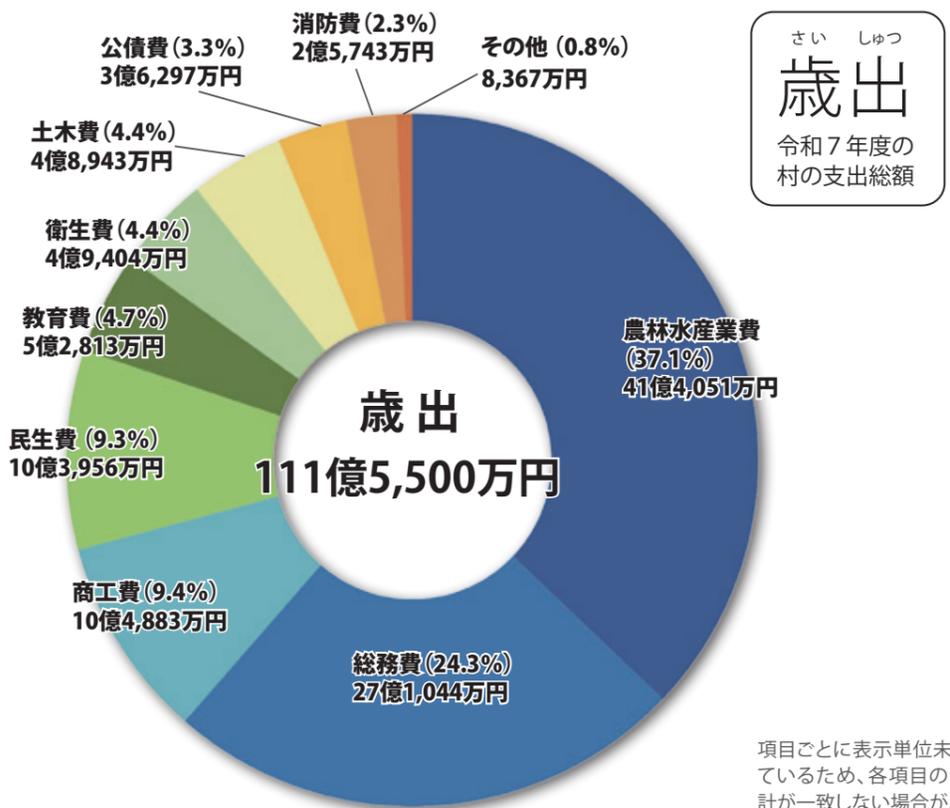


令和7年度 一般会計当初予算

令和7年度の当初予算案は、飯館村議会3月定例会の予算審査特別委員会(佐藤健太委員長)において審査と採決が行われ、3月14日の本会議にて可決・成立しました。令和7年度の一般会計当初予算と特別会計当初予算、公営企業会計当初予算について、概要をお伝えします。



さい にゆう
歳入
令和7年度の村の収入総額



さい しゅつ
歳出
令和7年度の村の支出総額

項目ごとに表示単位未満を四捨五入しているため、各項目の合計と全体の合計が一致しない場合があります。

令和7年度 一般会計

福祉や教育、消防など住民に対して広く行う各種事業についての包括的な会計です。

令和7年度一般会計当初予算は111億5500万円、対前年度比14.8%減、金額にして19億3800万円の減となりました。この予算は過去8番目に大きい規模で、7年連続で100億円を超える予算となっています。



さい にゆう
歳入
令和7年度の村の収入総額

村税などの「自主財源」は30億8523万円、歳入全体の27.7%です。一方、国や県からの支出金などからなる「依存財源」は80億6978万円、歳入全体の72.3%を占めています。

さい しゅつ
歳出
令和7年度の村の支出総額

令和7年度は、国が定める第2期復興創生期間の最終年度にあたるため、当初予算の編成にあたっては、復興創生期間以降も継続する事業、民間活力や新たな担い手に移行する事業、縮小・廃止していく事業など、将来予測を

踏まえた事業の組み立てに注視し、方向を示す予算の検討を行いました。

本村をはじめとする被災地の復興にあたっては、依然として多くの課題が残されたままであることから、令和7年度は、翌年度以降の復興事業の継続、充分な予算の確保等について、国・県・関係機関への要請をさらに重ねていくべき重要な年度でもあります。

予算の編成にあたっては、「①次世代・継承」「②なりわい」「③10年後を見据える」「④帰還困難区域」という4つの指標と、「①村民の今を支える取り組み」「②村の将来への布石となる取り組み」の2つの力点を設け、事業の組み立てを行っております。これらの指標と力点は、令和5年度に見直しを進めた飯館村第6次総合振興計画「後期計画」に掲げているもので、計画期間中一貫して取り組む方針です。

特定の事業を特定の収入で行うため、一般会計とは分けて設けた会計です。

令和7年度 特別会計

国民健康保険特別会計	7億9,347万円
介護保険特別会計(事業勘定)	10億5,984万円
介護保険特別会計(サービス勘定)	690万円
後期高齢者医療特別会計	8,302万円

令和7年度 公営企業会計

簡易水道事業会計	2億2,930万円
農業集落排水事業会計	9,681万円

※公営企業会計予算額は、収益的支出及び資本的支出の合計。